

いきいき! マイタウン

まちで起こった出来事や
気になるあの人を紹介します。

い〜な ひまわりプロジェクトのひまわり畑
(員弁町上笠田、下笠田)

100 歳おめでとうございます

健康の秘訣は？

今年度、市内で 13 人が 100 歳を迎えられます。

藤原町本郷の羽場正久さんは健康の秘訣について、「90 歳から最近まで毎日外に出て畑仕事などをしていました。また、朝食を毎日自分で作って食べています」と話していました。(9 月 10 日(火)取材)



羽場さん夫婦

過ぎゆく夏をゆったりと過ごす

いなべの夏ぐれ

8 月 31 日(土)夜、新庁舎に隣接したにぎわいの森で「いなべの夏ぐれ」があり、約 300 個のろうそくが並べられ、森全体が柔らかな明かりに包まれました。

開始直後はあいにくの雨模様でしたが、雨が上がると一変。空が夕焼けに染まり、虫の音が一足先に秋の訪れを感じさせていました。

この日は、特別に各店舗が延長営業を行い、工夫を凝らした特別メニューを提供しました。またチェロとピアノや、アイリッシュミュージックのミニライブが行われ、最後まで多くの人が響き渡る音色に聴き入っていました。

訪れた市内の男性は「音楽が夜の静かな森の雰囲気合い、自然を感じさせてとても良かった」と話していました。

1. ろうそくが灯されたにぎわいの森。来場者を包む明かりや木々を吹き抜ける風が暮れゆく夏を感じさせる 2. フレイトレシピの特別出店。特性のシロップで食べるかき氷を販売 3. ミニライブ



保育園でお月見会

9月13日（金）、中秋の名月にあわせて、員弁西保育園でお月見会が開かれました。3～5歳児がホールに集まり、保育士が披露する月に関する手遊びや童謡、お月見の紙人形劇を見て楽しみました。

最近は季節の行事を楽しむ家庭が少なくなっているそうです。日本の歴史や文化に触れてもらい親しみを持ってもらう機会を保育園では積極的に設けています。

お供え物の野菜や団子を見た子どもたちは「たべたい」と話し、夜に月が見えるか楽しみにしていました。



1. お月見の紙人形劇 2. 楽しい時間を過ごして笑顔が溢れました 3. 「これは何」と興味津津な子どもたち

これからも地域と共に

イナベ会が寄付

8月29日（木）、いなべ市内の企業9社からなるイナベ会から市に、北勢町麻生田地内で進めている公園整備事業のための寄付金が贈呈されました。

イナベ会代表の株式会社三五の中山孝利工場長は「イナベ会はこれからもしっかりと地域の皆さまと一緒に歩んでいきたい」と話していました。

市長は「日ごろより雇用の安定に貢献していただき、ありがとうございます。寄付金は公園整備に大切に使用させていただきます」と感謝を伝えました。



寄付金を贈呈する中山工場長

日本動物介護センターと協定締結

被災したペットの保護が迅速に

いなべ市とNPO法人日本動物介護センターは「災害時における動物保護活動に関する協定」を締結しました。

同センターは、災害時に被災した家庭のペットを預かる活動を行っています。協定を結んだことで、市との連携が取りやすくなり、迅速にペットの保護に対応できます。犬、猫のほか、鳥やウサギなどの小動物も保護できるとのこと。

8月20日（火）、理事長の山口常夫さん、上村智恵子さんが市役所を訪問し意見交換会が行われました。山口さんは「大災害だけではなく、台風などでもペットの保護に応じます」と話していました。



（右から）災害救助犬じゃがいもと上村さん、山口さん、市職員